FM/AMチューナー

KT-6050

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

B60-1239-00 (JA) AP
94/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 93/12 11 10 9 8

はじめに

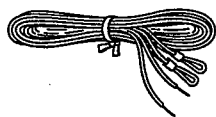
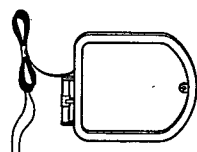
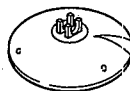
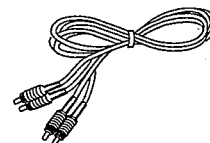
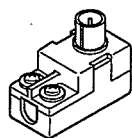
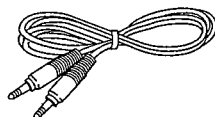
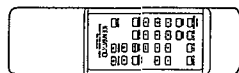
ケンウッド商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため本説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださるようお願いいたします。また、お読みになったあとも、大切に保存してください。

■目次

ご注意：⚠のついた項目は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

■付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

FM用室内アンテナ（1本）

AMループアンテナ（1本）

ループアンテナスタンド（1個）

オーディオコード（1本）

アンテナアダプター（75Ω/300Ω）（1個）

システムコントロールコード（1本）

リモートコントロールユニット（1個）

リモコン用単3乾電池（2個）

取扱上のご注意

⚠ この頁は安全確保のために必ずお読みください

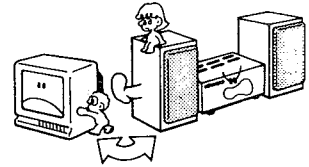
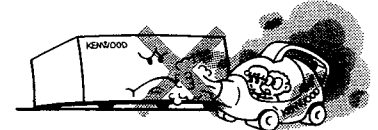
■設置上のご注意

直射日光の当たる所，暖房器具など発熱物の近くは避けてください。

極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

雑音が入る場合は，テレビからできるだけ離してご使用ください。

花びん，化粧品など液体の入ったものは，上に置かないでください。また，湿気の多いところは避けてください。

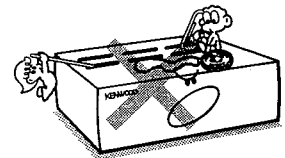
放熱をよくするため，本など，ものをセットの上に置かないでください。また，壁から10cmくらい離して置いてください。

不安定な棚などは避け，ホコリ，震動の少ない水平な場所に設置してください。
また，放熱孔をふさぐジュータン，ソファー，ベッド等の上では使用しないでください。

■安全上のご注意

本機は，交流100V専用です。200Vでは絶対に使用しないでください。

電源プラグの抜き差しは，ぬれた手で行なわないでください。感電するおそれがあります。

ケースの空気孔等にヘアピン，縫い針などの金属物が入ると故障や感電の原因になります。とくにお子様へのご注意をお願いします。

電源コードを強くひっぱったり，無理に折り曲げたり，継ぎ足したりすることは，通電しなくなったり，ショートのおそれがありますのでやめましょう。抜くときは，プラグを持ってください。

ケースなどをはずし，内部に触れることは避けてください。内部に手を触れると感電，故障の原因となることがあります。

■セットのお手入れ

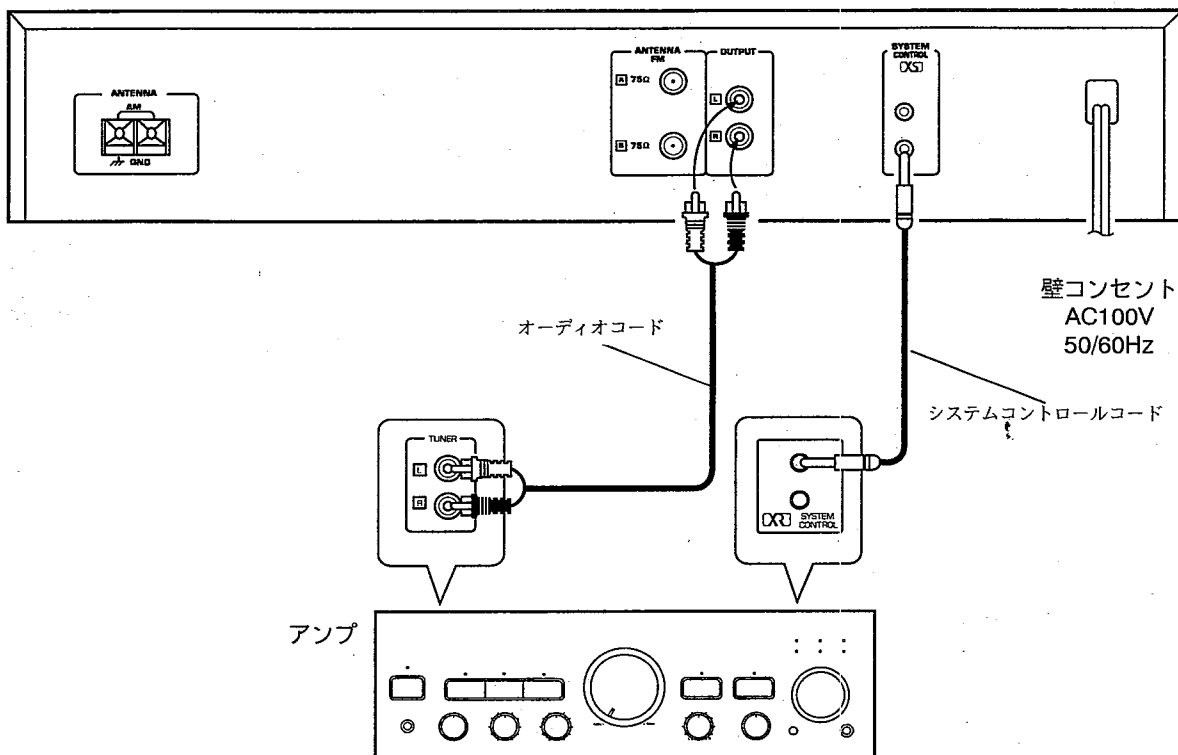
前面パネル，ケースなどが汚れたときは，やわらかい布でからぶきします。シンナー，ベンジン，アルコールなどは変色の原因になることがありますので，ご使用にならないでください。

■異常にお気づきのさいは

万一，煙が出ている，また変なにおいがするなどの異常がおきたときは，電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速やかに購入店または最寄りのケンウッドサービスセンター，営業所へご連絡ください。

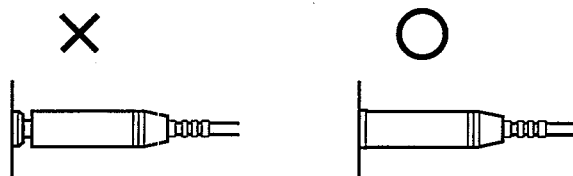
POWER OFF

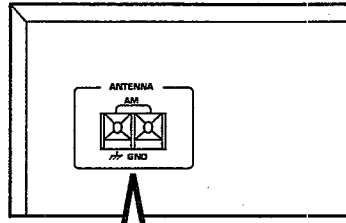
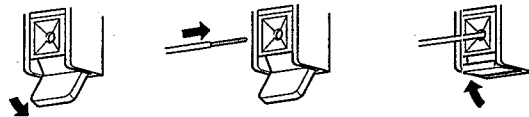
接続のしかた

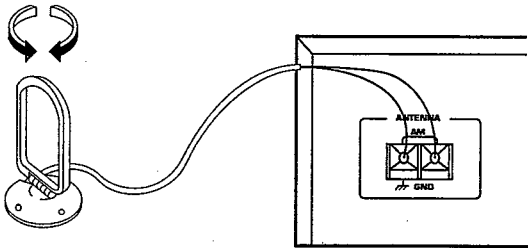
下図のように接続してください。
関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

システムコントロール接続について

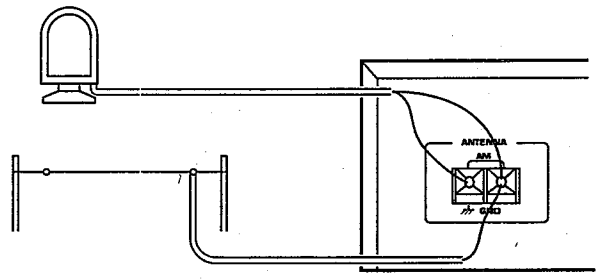
KENWOODのシステムコントロール端子の付属したアンプに接続することにより、アンプ付属のリモートコントロールでのシステム操作(電源のON/OFF、放送バンド切り換え、プリセットコールなど)ができます。
くわしくはアンプの取扱説明書をお読みください。

アンプにシステムコントロール端子がない場合は、どのシステムコントロール端子にも、なにも接続しないでください。
当社指定以外の機器との接続は、故障の原因となりますのでおやめください。

- システムコントロールプラグは根もとまで差し込んでください。
- システムコントロールコードとオーディオコードが正しく接続されていないと、リモートコントロールおよびシステム機器相互間の自動システムが作動しませんのでご注意ください。

ご注意：

1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

■AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

■AM屋外アンテナの接続

受信状態が悪い場合は、ループアンテナをつないだまま6m以上のビニール被覆線を屋外に張ってください。

AMステレオ放送について

本機では、AMステレオ再生ができ、スポーツ中継やドラマなどを臨場感あふれる音声で楽しむことができます。

AMステレオ放送は、アメリカで1982年に始りました。複数の放送方式があり、どの方式が良いかいろいろ論議されてきました。日本ではモトローラ方式が採用され、1992年3月から関東の文化放送、東京放送、ニッポン放送の3局と、関西の毎日放送、朝日放送の2局が放送を開始しました。

ステレオ放送では、今までのモノラル放送では得られなかった臨場感が再現され、AM放送の新しい楽しみかたを作り出します。今後、AMステレオ放送を開始する局は、全国に広がる予定です。

AMステレオ再生によって新しい発見を、お楽しみください。

■FM簡易アンテナの接続

■同軸ケーブルの接続

■FM屋外アンテナの接続

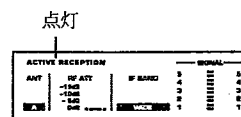
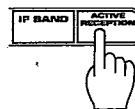
75 Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引き込み、“FM 75 Ω”端子に接続します。

- 屋外アンテナの取り付け方向は、チューニングシグナルインジケーターの振れが最も大きくなるようにセットします。
- リモコンの DISPLAY キーを押して、信号レベルをみることもできます。（12ページ参照。）

FM放送受信時の便利な機能

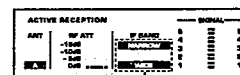
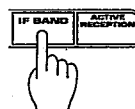
各操作キーは、押すごとに切り換わります。

ACTIVE RECEPTIONキー

ACTIVE RECEPTIONキーを押すと、インジケーターが点灯します。この状態でTUNING UP DOWN、またはプリセット呼び出しなど受信周波数を変えると、ANT A/B、RF ATT、IF BAND、AUTO STEREO/HI BLEND/MONOが自動的に切り換わり、電波状況にあった最適な受信状態が得られます。
通常はONにしておきます。

IF BANDキー

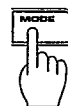
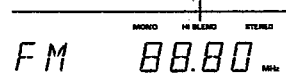
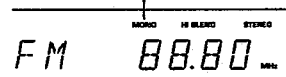
中間周波数の信号の通過帯域を、WIDE(広帯域)、NARROW(狭帯域)に切り換えることができます。

WIDE: 通常はWIDEにしておきます。ひずみの少ない良質の音で受信できます。

NARROW: WIDEで受信時、隣接局の妨害で放送がききとりにくいとき、NARROWにします。

MODEキー(オート ステレオ/HI BLEND/MONO)

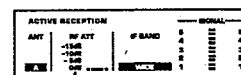
オートステレオ:
通常はオートステレオにしておきます。放送内容(ステレオ放送、モノラル放送)に合わせて自動的に切り換わります。(モノラル放送のとき、MONOインジケーターは点灯しません。)

HI BLEND: ステレオ放送受信時、雑音が多いときHI BLENDにします。ステレオ放送のままで雑音が少なくなります。

MONO: HI BLEND状態でさらに雑音があるとき、MONOにします。放送はモノラル受信になり、雑音がさらに少なくなります。

HI BLENDモードにしたとき点灯

MONOモードにしたとき点灯

RF ATTスイッチ

電波の強い放送局が隣接してあるとき、RF相互変調や混変調ひずみなどが発生し易くなります。このような場合、RF ATTスイッチを、0 dBから－5、－15dBへと切り換えることによって、RF相互変調や混変調ひずみなどを少なくすることができます。

0dB: 通常は"0dB"にしておきます。ACTIVE RECEPTIONをONにして、放送局を受信したとき、電波が強いと、自動的にATTが0 dBから－15dBの間を2.5dBステップで切り換わります。

－15dB: ケーブル放送受信時など、電波が強いときに数字の大きい方を選びます。

ANT A/B切換キー

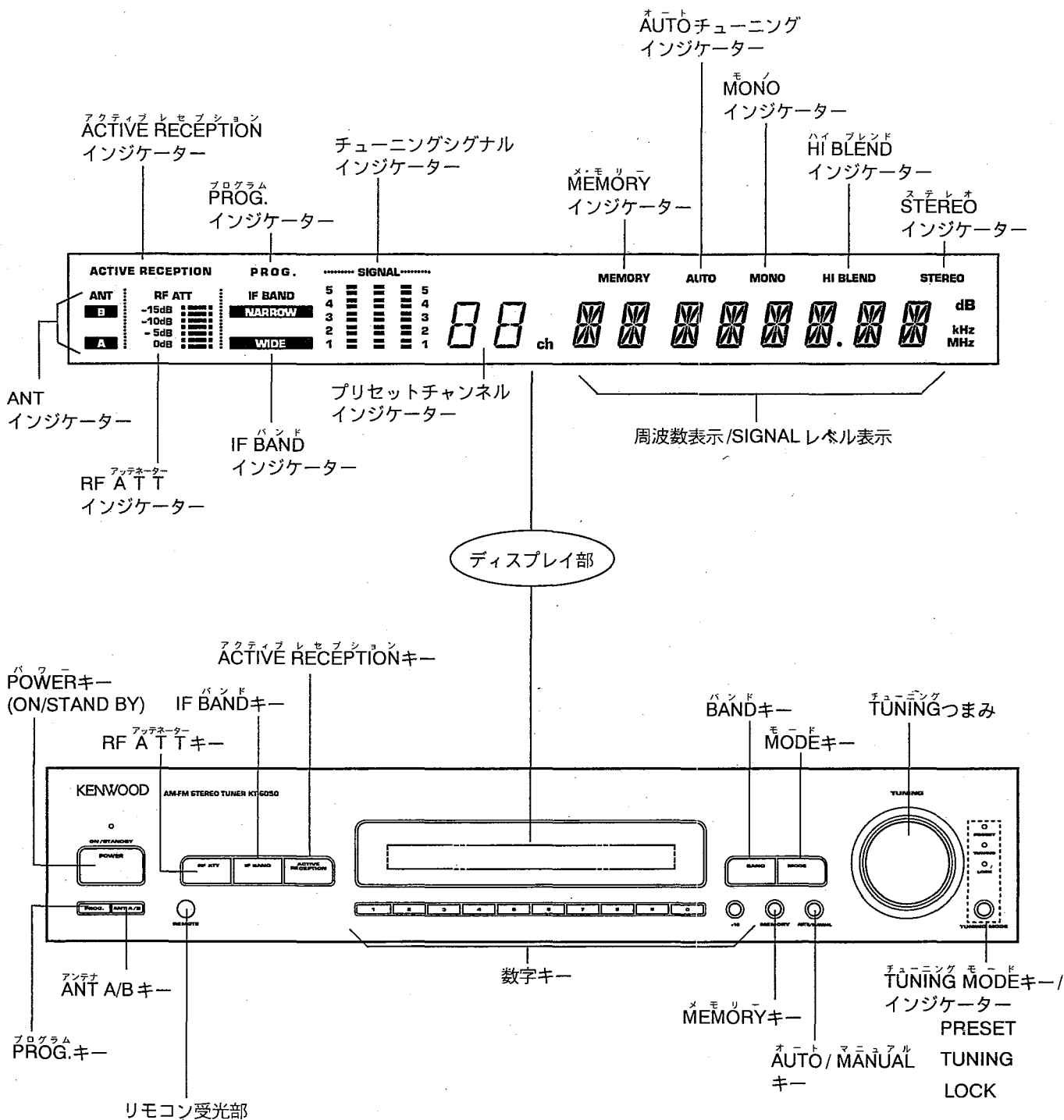
屋外アンテナ2本、または、屋外アンテナと既設アンテナ(共聴・ケーブル放送受信アンテナなど)を使用の場合、それぞれの設置や受信条件に合わせて、AかBに切換えることができます。

メモリーバックアップ

一度プリセットした記憶内容は、電源コードを抜いても約3日間は残っています。

ラストチャンネルメモリー

電源をONにしたとき、または放送バンド(AM, FM)を切り換えたとき、最後にきいていた放送局を受信します。

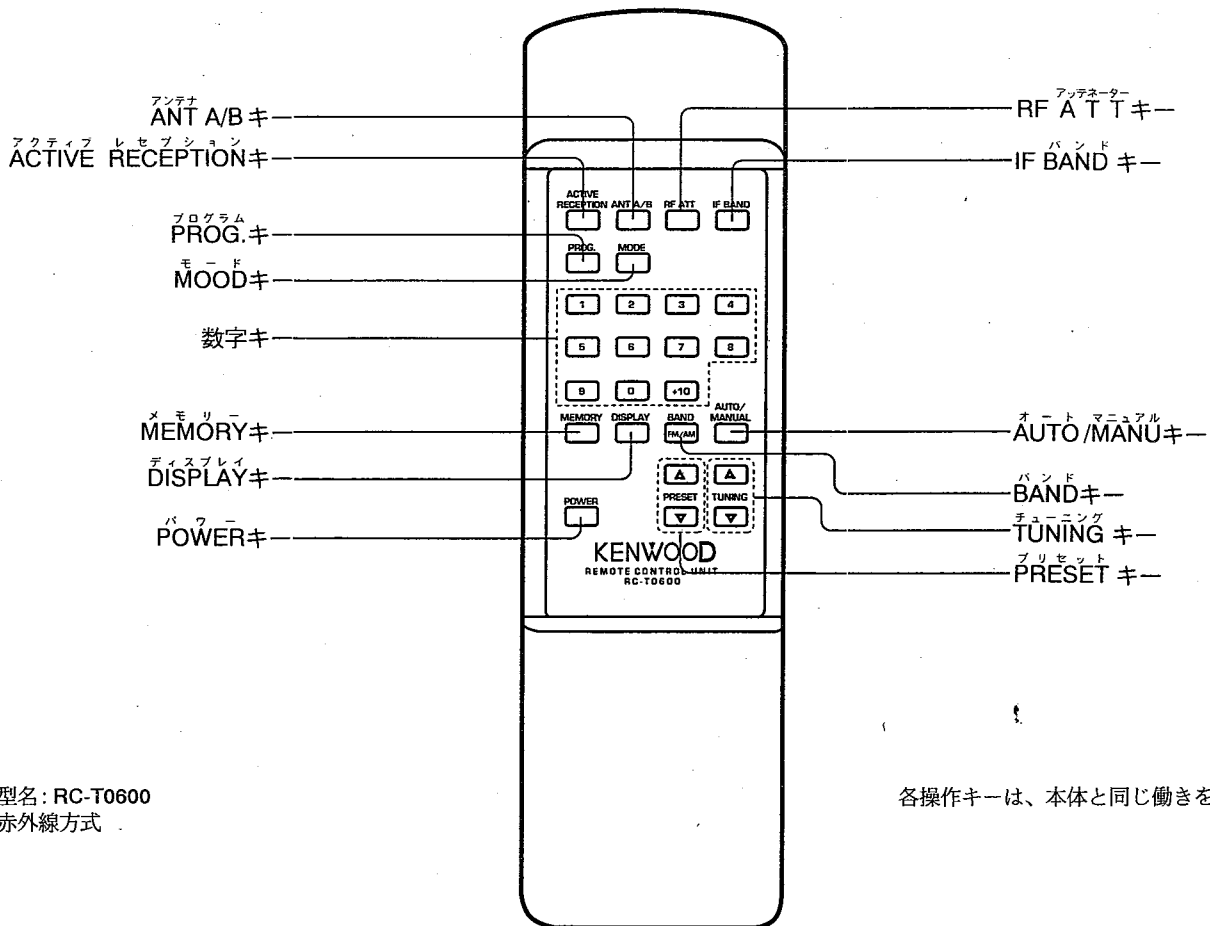
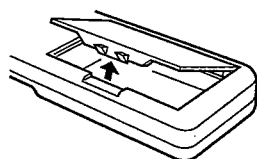
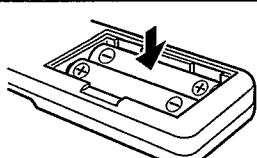
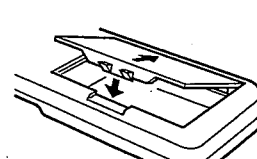
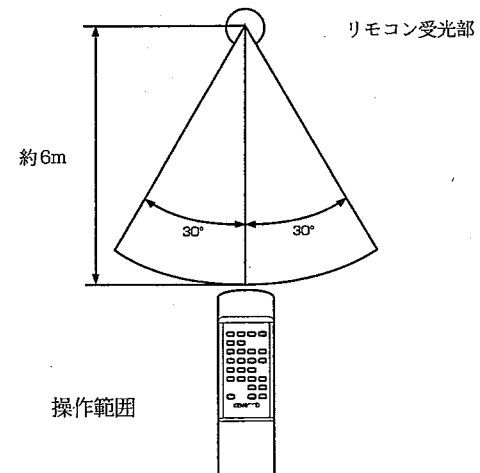
各部の名称

POWERキーのSTAND BYについて

本機では電源プラグをコンセントに接続すると、電源ON/OFFに関係なくスタンバイインジケーターが点灯します。これは電源OFF時にも、メモリーの保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。スタンバイインジケーターが点灯しているとき、リモコン操作によっても電源のON/OFFができます。

リモコンの使いかた

ANT A/B キー
ACTIVE RECEPTIONキー
PROG.キー
MOODキー
数字キー
MEMORYキー
DISPLAYキー
POWERキー

RF ATTキー
IF BAND キー
AUTO/MANUキー
BANDキー
TUNING キー
PRESET キー

ACTIVE RECEPTION　ANT A/B　RF ATT　IF BAND
PROG.　MODE
1　2　3　4
5　6　7　8
9　0　+10
MEMORY　DISPLAY　BAND FM/AM　AUTO/MANUAL
PRESET　TUNING
POWER
KENWOOD
REMOTE CONTROL UNIT
RC-T0600

型名：RC-T0600
赤外線方式

各操作キーは、本体と同じ働きをします。

■電池の入れかた

1 ふたを開ける

2 電池を入れる

単3乾電池 (R6/SUM-3)2個を極性マークに従って入れる。

3 ふたを閉める

■操作のしかた

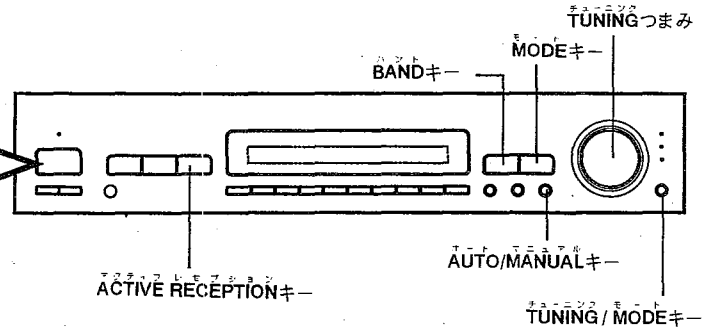
操作範囲

操作範囲

- リモコンの各操作キーを押してから次の操作キーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

ご注意：

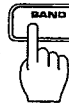
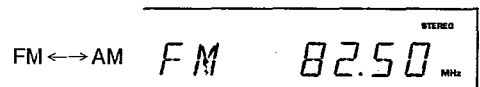
1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

放送受信のしかた

■オート選局できく

1 アンプの入力切換をTUNERにする

2 放送バンドを選ぶ

BANDキーを押すごとに放送バンドが切り換わります。

FM←→AM　FM 82.50 MHz

3 AUTO選局モードにする

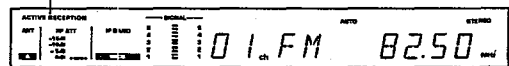
AUTO/MANUALキーを押す

キーを押すごとにオート選局(AUTO点灯)またはマニュアル選局(AUTO消灯)になります。

4 ACTIVE RECEPTIONをONにする

FM放送を最適な状態で受信します。(7ページ参照)

点灯

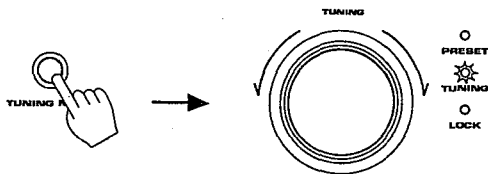
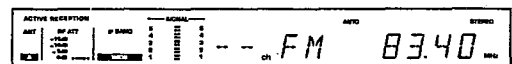
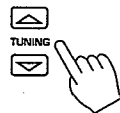
01.FM 82.50

● AM放送受信時は機能しません。

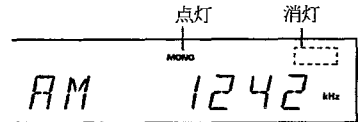
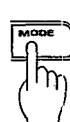
5 希望する放送局を受信する

本体

TUNINGモードにする　　軽く回す

リモコン

● 周波数の高い局を選ぶときは、TUNINGつまみを軽く右に回します。
● 周波数の低い局を選ぶときは、TUNINGつまみを軽く左に回します。
● 周波数を自動的に走査して、放送局を受信すると停止します。

MODEキーについて

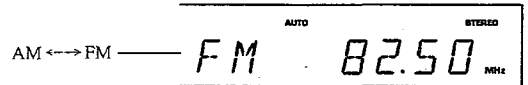
AMステレオ放送受信時、電波が弱く雑音が多いときは、MODEキーを押してMONOにします。
(FM放送受信時は、7ページを参照。)

マニュアル選局できく

オート選局で選局できない電波の弱い局を受信するときは、マニュアル選局をしてください。

1 アンプの入力切換スイッチをTUNERにする

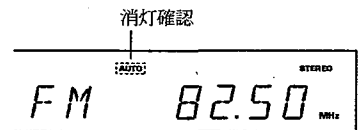
2 放送バンドを選ぶ

BANDキーを押すごとに放送バンドが切り換わります。

AM ←→ FM ── FM 82.50 MHz

3 マニュアル選局モードにする

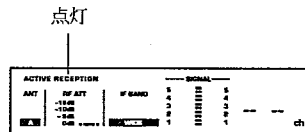
AUTO/MANUALキーを押す

消灯確認

FM 82.50 MHz

キーを押すごとにオート選局(AUTO点灯)または
マニュアル選局(AUTO消灯)になります。

4 ACTIVE RECEPTIONをONにする

FM放送を適切な状態で受信します。 (7ページ参照)

点灯

● AM放送受信時は機能しません。

チューニングシグナル
インジケーター

チューニングシグナルインジケーターについて

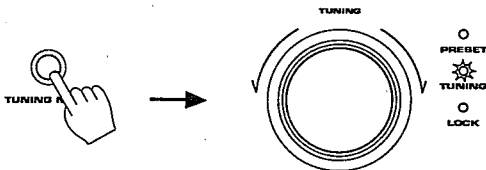
TUNINGつまみを回して放送を受信するとき、同調点に近づくに従って左右どちらかが赤色で点灯。さらに放送局に同調すると、中央の白のインジケーターがシグナルの強さによって点灯します。離調するときは、逆の推移をたどっていきます。

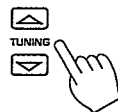
AM放送受信時は、放送局に同調すると、中央の白のインジケーターのみがシグナルの強さに従って点灯します。

ご注意:

電波が弱いときは、左側と右側のステップが4ポイント以下の表示になったり、左右非対称に表示されることがあります。

5 希望する放送局を受信する

本体

TUNINGモードにする　　軽く回す

リモコン

●つまみを回し続けると、周波数が連続的に変わります。

TUNING MODEキーについて

TUNING MODEキーを押すごとにTUNINGつまみの機能が切り換わります。

→ TUNING(チューニング)モード → PRESET(プリセット)モード → LOCK(ロック)モード →

PRESET / TUNING / LOCK

選ばれたモードのインジケーターが点灯します。

LOCKモードのとき周波数は固定され、TUNINGつまみを回しても変化しなくなります。

■放送を受信し、プリセットする(記憶させる)

放送バンドに関係なくランダム(無作為)に39局までプリセットできます。

1 放送局を受信する (10～11ページ参照)

2 MEMORYキーを押す

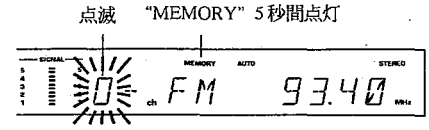
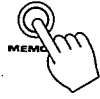
点滅　"MEMORY" 5秒間点灯

FM 93.40

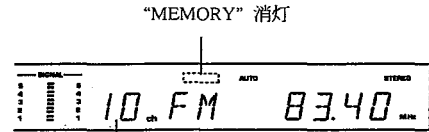
3 記憶させる

"MEMORY" 消灯

10 FM 83.40

入力例

"MEMORY"点灯中に押す

10chに記憶させたいとき：+10, 0

39chに記憶させたいとき：+10, +10, +10, 9

選ばれた番号が表示される
(01~39)

- プリセットを続けるときは、手順1～3を繰り返します。
- すでにプリセットした数字キーを押すと、新しい放送局に変ります。

■プリセットした放送局を受信する

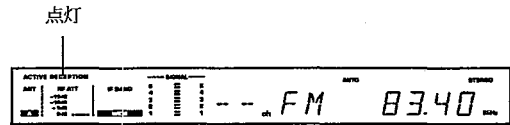
1 ACTIVE RECEPTIONをONにする

FM放送を最適な状態で受信します。 (7ページ参照)

- AM放送受信時は機能しません。

点灯

2 希望する放送局を選ぶ

選ばれた番号が表示される

数字キーで選ぶ

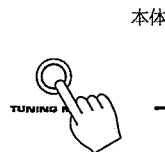
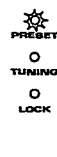
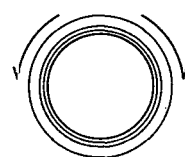
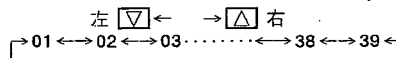
入力例

6chを受信したいとき：6

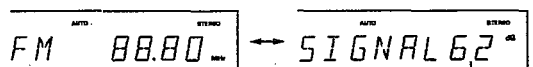
23chを受信したいとき：+10, +10, 3

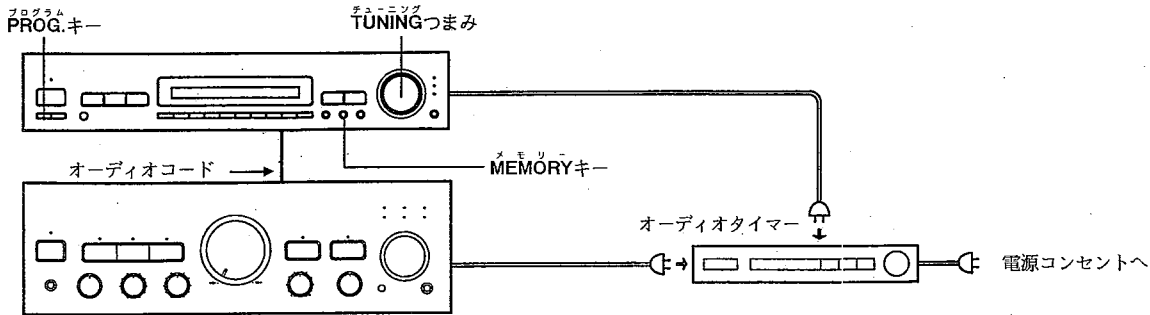
順番にきく

左 ▽ ←　→ △ 右

→01 ←→ 02 ←→ 03 ……… ←→ 38 ←→ 39 ←

DISPLAYキーについて(リモコンのみ)

FM放送受信時、キーを押すごとに、信号レベル表示と周波数表示に切り換わります。信号レベルは、受信中の電波の強さを表し、約5秒後に周波数表示に戻ります。

周波数表示　SIGNALレベル表示

電波が強いほど大きな値を示します。

タイマー受信のしかた

■希望の放送局をプログラムする

本機は、希望の放送局を3局プログラムすることができます。STAND BY状態でも操作することができます。
市販のオーディオタイマーなどを利用すると、3局の留守録ができます。

1 放送局をプリセットしておく

(12ページ参照)

● プログラム動作は、プリセットチャンネルを利用するため、あらかじめ希望の放送局をプリセットしておく必要があります。

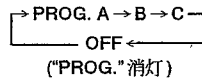
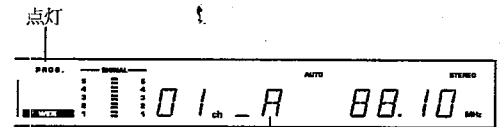
2 プログラム設定状態にする

①設定したいモードを選ぶ

キーを押すごとに変わります。

→PROG. A→B→C→OFF
("PROG."消灯)

点灯

01 ch _A 88.10 MHz

例:"A"を選んだとき

● プログラムA、B、Cの何れかを選ぶ。

② MEMORYキーを押す

"A"の点灯中に押す

点滅

01 ch _A 88.10 MHz

点滅

3 プログラムをセットする

①プリセットチャンネルを選ぶ

(希望の放送局を選ぶ。)

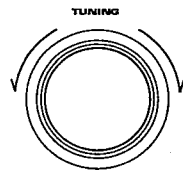
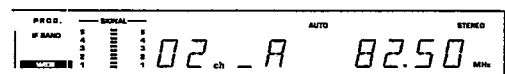
TUNING

本体

リモコン

PRESET

②PROG.キーを押す

02 ch _A 82.50 MHz

他のプログラム(B、C)を続けてセットするときは、手順2,3を繰り返します。

● 初期設定は、プログラムA、B、Cともにプリセットの1chがプログラムされています。

本機は、市販のオーディオタイマーを利用して電源をON/OFFすることにより、ラストチャンネルまたはプログラム内容を選ぶことができます。

■ききたい放送局を1回だけ受信する

1 PROGRAMをOFFにする

消灯

キーを押すごとに変わります。

→PROG. A→B→C→OFF→
("PROG."消灯)

- PROG.インジケーターを消灯させる。

2 ききたい放送局を受信する

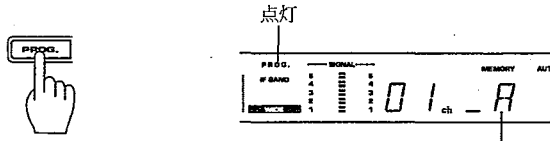
3 タイマーを設定する

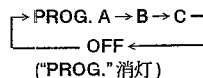
- チューナーの電源はONの状態のまま、タイマー側で電源をOFFにします。

■プログラム順に受信する

準備:あらかじめ受信したい局をプログラムしておく。

1 PROGRAMを選ぶ

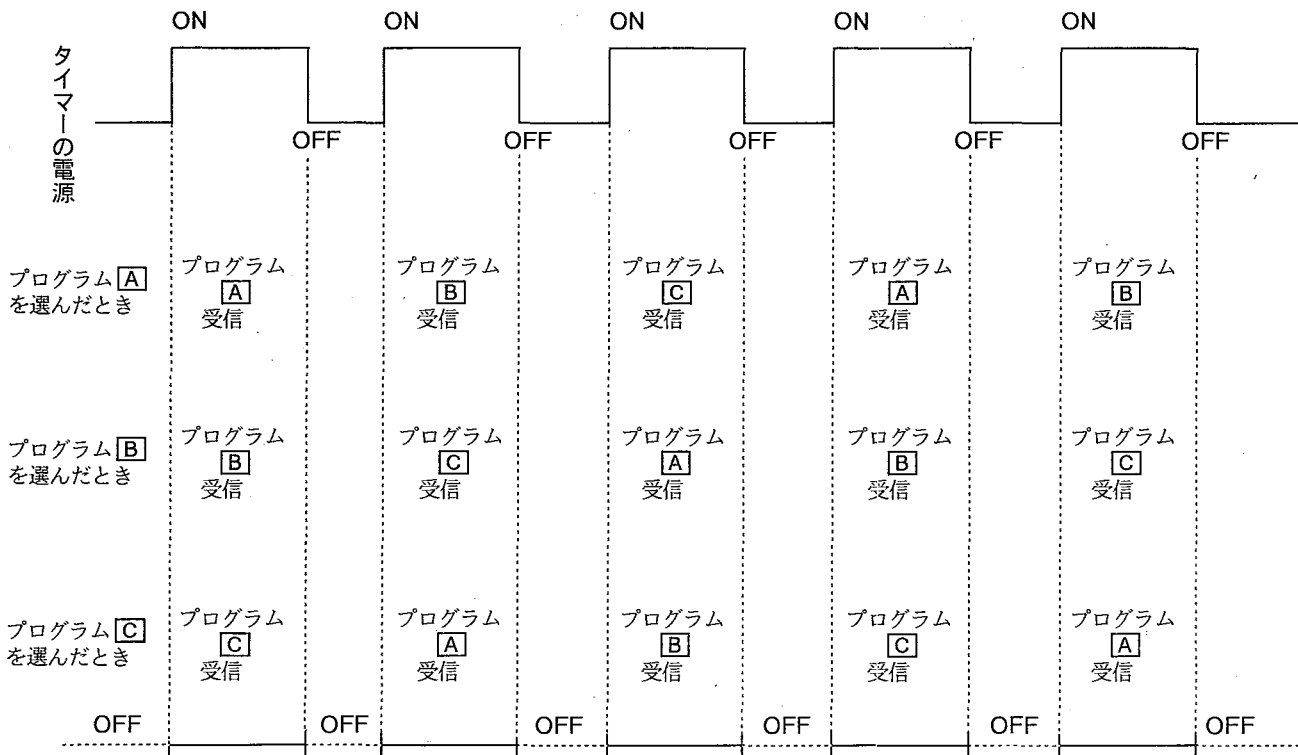
点灯

キーを押すごとに変わります。　例:"A"を選んだとき

→PROG. A→B→C→OFF→
("PROG."消灯)

- どのプログラムから受信したいかを選ぶ。
- 約5秒後に元の表示に戻ります。

2 タイマーを設定する

- チューナーの電源はONの状態のまま、タイマー側で電源をOFFにします。
- タイマーのON/OFFに対応して下の表のように受信局が選ばれます。

タイマーのON/OFFに対応した受信の変化

タイマーの電源	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
プログラム[A]を選んだとき	プログラム[A]受信		プログラム[B]受信		プログラム[C]受信		プログラム[A]受信		プログラム[B]受信	
プログラム[B]を選んだとき	プログラム[B]受信		プログラム[C]受信		プログラム[A]受信		プログラム[B]受信		プログラム[C]受信	
プログラム[C]を選んだとき	プログラム[C]受信		プログラム[A]受信		プログラム[B]受信		プログラム[C]受信		プログラム[A]受信	
OFF		OFF		OFF		OFF		OFF		OFF

- 以降はプログラム[A],[B],[C]を繰り返し受信します。

故障と思われる症状ですが……

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

症　　状	原　　因	処　　置
音が出ない。	●アンプと接続されていない。	●オーディオコードでアンプと接続する。
放送局が受信できない。	●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 ●アンテナに入ってくる電波が弱い	●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 ●遠距離にあるところではFM専用外部アンテナ(5~8素子)を建てる。
数字キーを押しても受信できない。	●呼び出したチャンネルに放送局をプリセットしていない。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。	●放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。
雑音が入る。	●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。	●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。
IF BANDがNARROWのときに音がひずむ。	●放送局の音声レベルが高いため。	●IF BANDをWIDEにする。

ご注意：

1. 本機はマイコンを使用していますので、外部からの雑音や、妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードを一度抜いてからあらためてご使用ください。
2. 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

アフターサービスについて

1．保証書－この商品の保証書は別途添付しております。
　必ず所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

2．保証期間－お買い上げの日より**1**年間です。
　正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には、保証書の記載内容によりお買い上げの販売店またはケンウッドの営業所が無料修理いたします。

3．保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。

4．補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後**8**年間です。
　性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5．アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所に、ご遠慮なくご相談ください。

サービス依頼について

　本機の修理を依頼されるときは、本体のままお渡しにならないで、必ず何かに包装してお渡しください。本体のまま修理にだされますと、途中の事故等で外観に傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

※包装材はアフターサービスや引越しの際大切な機器を保護するためにご利用ください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も，時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は，あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には，小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には，特に気を配りましょう。窓を閉めたり，ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り，快い生活環境を守りましょう。

定格

[FMチューナー部]
受信周波数範囲 .... 76 MHz~90 MHz
アンテナインピーダンス .... 75 Ω不平衡
実用感度 (モノラル) .... 10.8 dBf (0.95 μ V, 75 Ω)
高周波ひずみ率　モノ .... 0.007 % (1kHz, WIDE)
　　ステレオ ... 0.015 % (1kHz, WIDE)
S/N比　モノ .... 95 dB (85dBf入力時)
　　ステレオ .... 86 dB (85dBf入力時)
ステレオセパレーション (1kHz) .... 60 dB (WIDE)
　　(50Hz~10kHz) .... 50 dB (WIDE)
キャプチャーレシオ (WIDE) .... 1.0 dB
　　(NARROW) .... 2.0 dB
実効選択度 (± 400kHz) .... 60 dB (WIDE)
イメージ妨害比 .... 90 dB
IF妨害比 .... 110 dB
スプリアス妨害比 .... 105 dB
AM抑圧比 .... 68 dB
サブキャリア抑圧比 .... 76 dB
周波数特性 (30Hz~15kHz) .... +0.5 dB, − 0.7 dB
出力レベル/インピーダンス (FM:1kHz, 100%変調)
　　固定出力 .... 0.8V / 600 Ω

[AMチューナー部]
受信周波数範囲 .... 531~1,602 kHz
実用感度 .... 10 μ V (300 μ V / m)
SN比 .... 52 dB (モノ)
全高調波ひずみ率 .... 0.3 % (モノ)
イメージ妨害比 .... 37 dB
IF妨害比 .... 50 dB
実効選択度 .... 38 dB
出力レベル/出力インピーダンス
　　(AM:400Hz, 30%変調) .... 0.24V / 600 Ω

[電源部・その他]
電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) .... 20 W
寸法 .... 幅　440 mm
　　高さ　98 mm
　　奥行　331 mm
重量 .... 正味　4.5 kg

これらの定格及びデザインは、開発に伴い予告なく変更になることがあります。

アフターサービスのお問合わせは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。
商品に関するその他のお問合わせは、
お客様相談室をご利用ください。
電話 (03) 3486−5515

KENWOOD
株式会社ケンウッド
東京都渋谷区渋谷1−2−5 (アライブ美竹) 〒150
電話 (03) 3486−5511